

# 青い眼が見た幕末・明治

12人の日本見聞記を読む

緒方 修著

ISBN978-4-8295-0792-6

四六判ソフトカバー264頁 本体 2,200円



ゴンチャロフ



サトウ



ハリス

ゴンチャロフ、ハリス、ヒュースケン、オールコック、サトウ、ベルツ、イザベラ・バードなど、幕末・明治期、重要なプレイヤーとして振る舞った青い眼の12人が残した日本見聞記幕府が崩壊し維新政府が誕生し、そして日露戦争に湧く時代に、日本にのめり込んだ欧米人たちが何を見たのかを読み解く



オールコック



ベルツ



イザベラ・バード



綱渡りをしている各国公使。左側パークス(英)、右側ロッシュ(仏)



『日本奥地紀行』に描かれたアイヌ



軍事演習の前に休息をとる日本軍兵士

## 第1部 幕末・明治を外から見る

- 1 ロシア文豪が見た幕末日本——閉ざされた玉手箱  
◆ゴンチャロフ『ゴンチャロフ日本渡航記』
- 2 「ペリーがかんぬきを外し、ハリスが門を開けた」  
◆ハリス『日本滞在記』
- 3 ヒュースケン暗殺——恐怖の夜が続く  
◆ヒュースケン『ヒュースケン日本日記』
- 4 美しい日本——危険な役人たち  
◆オールコック『大君の都—幕末日本滞在記』
- 5 サトウ詣での有力者たち  
◆サトウ『一外交官の見た明治維新』
- 6 蚕を求めてやってきたイタリア使節団  
◆アルミニヨン『イタリア使節の幕末見聞記』
- 7 小国デンマークを襲う危機  
◆スェンソン『江戸幕末滞在記』
- 8 灯台の父——地震・オヤジも恐れずどんどん進め  
◆ブラントン『お雇い外人の見た近代日本』
- 9 ロシア・ナロードニキの見た明治「革命」  
◆メーチニコフ『回想の明治維新』
- 10 大義ばうち忘れとる今の政府ば倒す  
◆マウンジー『薩摩反乱記』
- 11 近代日本医学の父  
◆トク・ベルツ編『ベルツの日記』
- 12 トラブルを恐れぬレディ・トラベラー  
◆イザベラ・バード『日本奥地紀行』

## 第2部 幕末・明治 サイド・ストーリー

「悪の枢軸」英仏の毒牙が日本に届かなかった訳／自覚的にうそをつく組織としての官僚制度／幕末暗殺あるある、恐怖の逆ロシアンルーレット／テロに脅える犬たち／イギリス残酷物語—エンゲルスが見た労働者階級の状態／ラスト・サムライの覚悟／西洋強国による東方侵略の危機—明治のベストセラー『佳人の奇遇』／ヨーロッパ植民地主義の圧力／鎖国の遅れを取り戻す「翻訳」／謀反論／日清・日露に参戦した軍医／カナダへ向かうメリーポピンズ達／鎖国が遅らせた「幻のベンガル湾海戦」

緒方 修 (おがた おさむ)

1946年生。中央大学卒、文化放送記者・プロデューサーを経て1999年より沖縄大学教授。早稲田大学オープン教育センター講師など。現在、東アジア共同体研究所琉球・沖縄センター長、NPOアジアクラブ理事長ほか。著書は、『青い眼の琉球往来』『シルクロードの未知国—トルクメニスタン最新事情』(以上、芙蓉書房出版)、『客家見聞録』『燦々オキナワ』(以上、現代書館)、『沖縄野菜健康法』(実業の日本社)、『歩きはじめた沖縄』(花伝社)など。

6月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 6月3日(水) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
青い眼が見た幕末・明治	部	
6月新刊 本体 2,200円		